

# 当院の小児訓練とは？

お問い合わせ番号：088-698-0333

若槻医師  
コメント



若槻医師

私の次男は、知的障がいを伴う自閉症です。

息子が幼い頃、障がいをもった彼の将来を心配し、社会の中での自立を願いながらも、一体どうすればよいのか分からず、泣いてばかりで、我がままいっぱいの息子を前に、途方に暮れていました。

そんな中で、タイル算を基本とした分かりやすい算数指導や、手を添えて教える言葉の指導が、障がいのある子どもに有効であることを学び、療育を開始しました。

療育を始める前の5歳のときには、数の概念もなく、ひらがなの一文字さえ書けなかった息子ですが、諦めずにほめながら教えることで、学ぶ事を楽しみとするようになり、中学生の時には簡単な因数分解も解けるようになりました。

現在、息子はJRとバスを使って一人で行動し、買い物も自由に行うことができるようになっています。

私は、自閉症の息子を持ち、自閉症児の療育について学んだことで、障がいのある子どもでも適切に導けば、いろいろなことが出来るようになるかと確信しました。そして、私の経験や知識を活かしたいと思い、小児訓練を担当することに決めました。

この小児訓練で子ども達の可能性を伸ばし、ご家族に、少しでも希望の光を増やしてさしあげることが、障がい児をもった私の、医師としての使命だと考えています。



当院の小児訓練の特徴



◆ **医療保険で利用可能です**

◆ **他の療育との併用ができます**

◆ **40分～60分の個別指導です**



就学前からの介入が必要な理由

3歳～6歳の学習期では運動機能や知的発達も著しく伸びる時期となっています。この時期こそ、お子様の可能性を広げる療育が大切です。

**※2歳半すぎから対応をさせて頂いております。**

2歳半～3歳ごろ

- ことばが遅い
- 落ち着きがない
- かんしゃくがひどい
- 集団行動が苦手



就学後

- 座って授業が受けられる
- 先生の話がきけるようになる
- 相手の気持ちを考えられる
- 学校の授業が楽しくなる

当院の療育内容は、**「出来なくても諦めずに最後まで頑張る」**ということを教えていき、やり遂げたときの達成感から、**「次も頑張ろう」**という気持ちを育てていきます。



お子様と一緒にやる課題

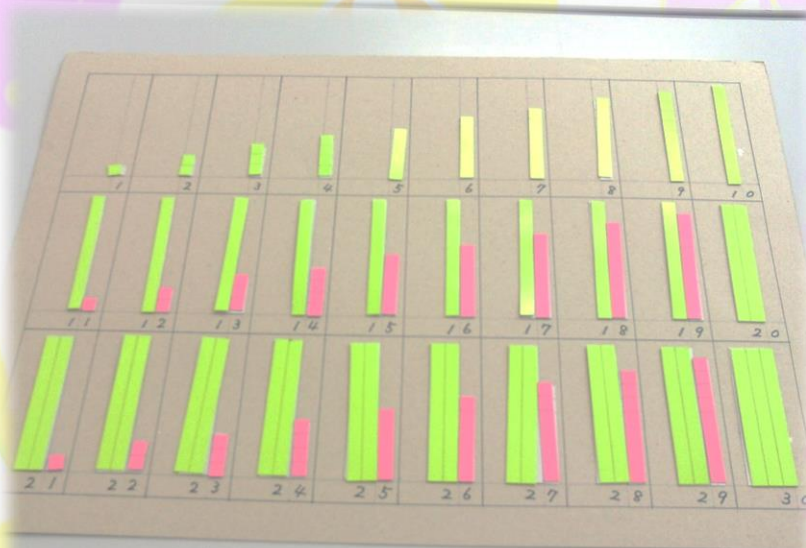
幼少期からひらがなや数字に触れることで自信が付き、就学する時には勉強する姿勢ができています。早期から介入することで、お子様の出来ることを増やしてあげるのが目標です。

課題の内容は一人ひとりお子様に合わせたものを提供していきます。

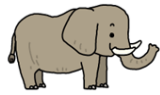
型はめ・パズルボックス



タイル 30 並べ







お勉強のお部屋♪

訓練



控室



☆兄弟児との来院でも控室にてお待ち頂けるようになっています♪

☆マジックミラーでお子様の様子が見えます

## 初診のご予約について

初診のご予約はお電話で受付しております。診察・発達検査  
カウンセリングの後、訓練が必要と考えられた場合でも、訓練の空き枠  
が出るまでお待ち頂く可能性もございますので何卒ご了承ください。

気になることがあれば気軽にご相談ください♪



お問い合わせ：

医療法人 きたじま倚山会 きたじま田岡病院

〒771-0204

徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保30番地1

電話：088-698-0333（リハビリテーション科）

FAX：088-698-9988